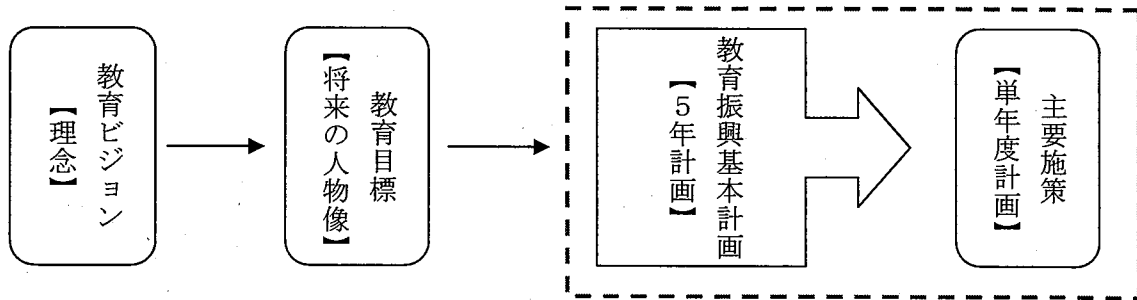


平成28年度文京区教育委員会 主要施策

【主要施策の位置付け】



教育委員会は、「教育ビジョン～個が輝き共に生きる文京の教育～」の実現を目指し、教育目標に基づいた教育施策を推進するため、平成26年3月に教育振興基本計画を策定した。主要施策は、教育振興基本計画に位置付けられた施策等を着実に実施するため、各年度に、教育委員会及び学校・園が推進すべき施策を定めた単年度計画である。

【主要施策の内容】

主要施策には、教育振興基本計画に基づく学校教育等のほか、文化財行政及び図書館について、推進すべき施策を定めている。

【主要施策と点検・評価】

主要施策に定めた施策の取組状況について、翌年度教育委員会事務局で点検・評価を行うことで、教育振興基本計画に位置付けられた施策等の実効性を高めていく。

1 学校教育等

<視点1 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成>

① 確かな学力の定着

- ・児童・生徒の情報の収集・活用能力の向上、情報の科学的な理解の促進、情報社会に参画する態度の醸成を行い、自ら進んで学び、基礎的・基本的な知識・技能に加えて課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を身に付け情報社会に主体的に参画できるよう、電子黒板や教員の指導用タブレット端末等を整備し、ICT教育を推進する。

② 豊かな人間性の育成

- ・各学校の実態や実情に応じて、特色ある地域人材や資源等を活用した日本の伝統・文化を理解するための教育を、各学校・園で実施する。

③ 健康・体力の増進

- ・がん・感染症センター都立駒込病院及び順天堂大学の専門医を講師として各校に派遣し、がんに関する知識の普及啓発を進め、がんと喫煙などとの関係や治療方法、検診の重要性に関する知識を身に付けるとともに、健康問題や医療の現状、命の大切さなどを総合的に学習する機会の充実を図る。

④ 保・幼・小・中の連携・接続

- ・区立幼稚園での「アプローチカリキュラム」、区立小学校での「スタートカリキュラム・アプローチカリキュラム」、区立中学校での「スタートカリキュラム」の実践を進める。また、中学校を軸とした9つの連携推進ブロックを組織し、ブロック内での連携した教育活動を推進することにより、子どもたちの「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した接続期の教育課程や指導方法の改善・充実を図る。

⑤ 特別支援教育

- ・特別支援学級設置校に「交流及び共同学習支援員」を配置するとともに、「合理的配慮協力員」を派遣することにより、全校体制でガイドラインに基づく交流及び共同学習の更なる推進を図り、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築を見据えた取組を進める。

<視点 2 地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働>

① 家庭・地域と連携した学校・園づくり

- ・学校支援地域本部や青少年委員による学校支援活動をさらに推進し、地域全体で学校を支える体制を強化する。

② 家庭教育への支援

- ・区立幼稚園において、早朝及び教育課程終了後並びに長期休業中に在園児を対象とした「預かり保育」を実施することにより、保護者の就労支援及び就学前の幼児に対する保育体制の充実を図る。

<視点 3 子どもの学びを保障する教育環境>

① 教員の資質向上、教育に専念できる工夫

- ・若手教員への教育アドバイザー派遣や職層に応じたOJT研修、重点的なテーマ設定による教育課題研修及び学校マネジメント研修を充実させ、教員の指導力向上と学校の対応力向上を図る。

② 安全・安心な学校生活のための危機管理体制

- ・小学校においては、27年度に設置された防犯カメラの活用や、PTA及び地域住民の協力により実施しているスクールガード事業において、警察やスクールガードリーダーと連携をとって通学路の安全確保に努めるとともに、学校等と情報を共有することで、子どもたちの安全・安心につなげていく。また、中学校及び幼稚園の校門等の出入り口付近に防犯カメラを設置し、安心・安全な教育施設環境を整備する。

③ 子どもたちの課題に対する専門的アプローチ

- ・跡見学園女子大学とのネットワークを構築し、不登校対応事業へのスーパーバイズにより支援員のスキルを高めるとともに、臨床心理士等を目指す学生を「家庭と子供の支援員」や「ふれあい学級ボランティア」として活用し、不登校や不登校気味の児童・生徒に対する効果的な支援を行い、不登校の解消を図る。

④ 学校運営に適した学校規模

- ・『「生きる力」実現・学校力パワーアップ事業』の活用等により、各区立学校・園の実態を踏まえた特色化と教育活動の活性化を図る。さらに、特に小規模な中学校について、生徒数増加に向けて、一層の魅力ある学校づくりを推進する。

⑤ 学校施設等の整備

- ・根津小学校（1期）及び第九中学校（2期）の外壁・サッシの改修を行うとともに、指ヶ谷小学校及び文林中学校の外壁・サッシ改修の実施設計を行う。また、指ヶ谷小学校外7校の内装改修等を行うとともに、礪川小学校外8校の内装改修等の実施設計を行う。

2 文化財行政

- ・区内で発掘された埋蔵文化財を、子ども考古学教室等で有効活用することで、文京区の歴史や文化財に対する区民の理解と関心を深めるとともに、郷土愛を育てていく。

3 図書館

- ・文京区立図書館サービス向上検討委員会の検討結果を踏まえて改修した真砂中央図書館において、中央館機能と地区館機能の更なる充実を図る。特に、地区館として、親子ふれあいコーナーやブラウジングコーナーの充実等により乳幼児から高齢者まで、誰もが快適に過ごせる読書環境を提供するとともに、区民ニーズに沿った図書館サービスに努める。

(平成28年1月27日 文京区教育委員会教育長決定)